

登録コード:MH407400 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目	必修
科目名	作業療法管理学【20M以降】 Management of Occupational Therapy			
担当教員	務臺 均			
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	作業療法学専攻/4年 後期 月曜・3時限			
単位数、講義室	2 単位	保健学科OT実習室	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標	
	MH20カリ・保健			
	保健・医療・福祉の現場において、専門職者として自己の責任を自覚し、チームの一員として協働活動に参加できる。		作業療法の職能を理解し、専門職者として自己の責任を自覚し、業務管理の方法論を身につけ、チームの一員として協働活動に参加できる。 作業療法業務に関連する関連法規の概要を説明できる。 作業療法のリスクマネジメントの方法を説明できる。	
	MH25カリ・保健・作業、MH23カリ・保健・作業			
	基礎的・専門的な知識と技能 看護専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。		作業療法の職能を理解し、専門職者として自己の責任を自覚し、業務管理の方法論を身につけ、チームの一員として協働活動に参加できる。	
	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。		作業療法業務に関連する関連法規の概要を説明できる。 作業療法のリスクマネジメントの方法を説明できる。	
授業で学べる「テーマ」	地域運営、健康長寿、防災減災、キャリア			
全学横断特別教育プログラム				
授業概要	医療保健福祉の専門職としての作業療法業務のマネジメントについて学びます。 本授業では作業療法の「評価学」と「治療学」および「臨床実習」の各科目で学んだ知識と経験を基に、作業療法士の職能と職場での業務管理の重要性を理解し、作業療法士の職能団体としての活動とその意義について理解を深めることを目的とします。 本授業は担当教員の医療・保健・福祉領域の作業療法実践と、日本作業療法士協会、世界作業療法士連盟学会等における活動経験を活かして講義を行います。			
授業計画	第1 回（9月28日）作業療法管理学概論，作業療法と職業倫理（務台） 第2 回（10月 5日）管理業務（務台） 第3 回（10月14日）教育 （務台） 第4 回（10月19日）教育 （職場外団体等）（岩波） 第5 回（10月26日）医療安全（岩波） 第6 回（11月 2日）労働安全衛生，接遇とクレーム対応（岩波） 第7 回（11月 9日）連携（佐賀里） 第8 回（11月16日）中間試験（務台） 第9 回（11月26日）社会保障制度（佐賀里） 第10回（11月30日）問題解決（佐賀里） 第11回（12月 7日）作業療法管理と臨床実習（務台） 第12回（12月14日）作業療法とキャリアデザイン（務台） 第13回（12月21日）作業療法と広域支援（大月肇先生：外部講師） 第14回（1月 4日）作業療法と起業（田中） 第15回（1月18日）作業療法管理の実践モデル（田中）授業アンケートの実施 第16回（1月25日）期末試験			
授業の進め方	授業はテキストと資料を使って講義形式で行います。授業の前に関連するページを読んで，予習と復習をしてください。予習した内容については、講義の中で質疑応答を行いますので，自身の疑問に感じたことを明らかにし，疑問を解決するように務めてください。			
テキスト，教材，参考書	テキスト 1.作業療法管理学（南江堂）			
成績評価の方法	中間試験・期末試験の結果に基づいて、総合的に成績を評価します。 総合的評価の配点は，中間試験50％，期末試験50％とし，総計の60％以上の得点を合格とします。中間試験は第8回（11月16日）、期末試験は第16回（1月25日）に筆記試験を実施します。 中間試験と期末試験では，授業内容の理解度を確認します。			
成績評価の基準	中間試験および期末試験の判定基準は以下の通りとします。 90-100点：秀 80-89点：優 70-79点：良 60-69点：可 これらの採点の基準は，達成目標に関連した設問に対する選択肢解答の正誤だけでなく，記述式解答における用語の適切さ，説明内容の範囲の広さや詳細さ，説明内容の論理的な妥当性などを指標とし，授業で説明した範囲における最低限の解答内容であれば「水準にある」，やや詳細な解答内容であれば「やや上にある」，十分に詳細な解答内容であれば「かなり上にある」，授業で説明した範囲以上に自身で能動的に学修した詳細な解答内容であれば「卓越している」と判定します。			
事前事後学習の内容	本授業の単位修得には45時間の学習が必要であるため，以下のような学習時間を必要とし			

事前事後学習の内容	まず、授業時間30時間（2時間×15回）＋自己学習時間60時間（4時間×15回）＝90時間 【事前学習】 毎回の授業の終わりに次回までに行ってくる予習内容を説明します。 【事後学習】 毎回の授業の終わりに教科書や資料の理解を深める箇所を説明しますので、事後学習に活かしてください。説明した内容は中間試験・期末試験の範囲に含まれますので、十分復習してください。
学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	作業療法の「管理」について十分理解を深め、専門職としての自覚を高めてください。 質問への対応 務台 均 hitmutai@shinshu-u.ac.jp 佐賀里昭 sagaria@shinshu-u.ac.jp 岩波 潤 iwanami@shinshu-u.ac.jp 田中佐千恵 sachifuk@shinshu-u.ac.jp 各担当教員にメールでアポイントとを取り相談に来てください。